

7

加工用トマトの収穫が始まりました

31

加工場なつのしゅん初出荷

コーミ北のほたるファクトリー(株)ではトマトジュース、トマトケチャップの原料となる加工用トマト「なつのしゅん」の集荷が始まりました。

今年は昨年より雨量も多く果実もたくさん実りましたが、日照が少なく熟すのが遅くなるのではないかと心配されていた中、^{ふじむらかすな}藤村和直さんより463.5kgの加工用トマトが7月31日(金)に初出荷されました。

藤村さんは「春先の雨のおかげで成長は順調に進んだ。株は大きく旺盛なので病気などにならないければたくさん収穫できそうです」と真っ赤に実った完熟トマトを前に話され、横山町長とコーミ北のほたるファクトリー(株)門間工場長より初出荷に伴う記念の品が贈られました。



8

ニューイヤー駅伝へ向けて合宿

5

中央発條(株) 陸上部が沼田町で合宿

ニューイヤー駅伝や国内の主要大会に数多く参加している、中央発條株式会社(代表取締役社長北浦啓一)の陸上競技部が7月27日から8月7日まで、宿泊交流センター夢未来で合宿を行っていることから、8月5日(水)横山町長が^{いしかわりゅうが}激励に伺いました。

町長からの激励を受け、主将の石川龍芽さんは「初めて沼田町で合宿をさせていただきましたが、町の人々が声をかけて優しく接してくれる、とても温かい町です。次のステップへ向け最大限努力していきます」と話されていました。



8

夜高あんどん祭りを前に

10

環境美化ボランティア

沼田町自治振興協議会(上林文雄会長)が主催する環境美化ボランティアが8月10日(月)に開催されました。

上林会長は「今年50回を迎える夜高あんどん祭りには例年以上に多くの方が訪れるかと思しますので、存分にお祭りを楽しんでいただけるようご協力よろしくお願いします」と挨拶され、町民の方や町内企業の職員らが6コースに分かれてゴミ拾いやスコップなどを使い町内に生えた雑草を刈る作業を行いました。



8

13

子どもから大人まで夏の思い出深める

第71回北海よされ納涼盆踊り

商工会・盆踊り実行委員会が主催する第71回北海よされ納涼盆踊り大会が8月13日（木）とむとむ広場で開催されました。

午後6時から太鼓と音楽が鳴り響き、保護者や町民の方々に見守れながら、子ども盆踊りが始まり、その後大人盆踊りが行われました。参加者はやぐらの周りを浴衣や趣向を凝らした様々な衣装をして踊り、夏の夜空のもとで大いに盛り上がりました。



8

26

ぬまたみらいわくわくアリーナプロジェクト検討結果

体育施設整備の方向性に関する説明会

老朽化が進む体育施設の基本方針を検討するため、町内関係団体11名に委嘱し、作成していただいた検討結果報告書を基に、町が協議・検討を重ね、8月26日（水）体育施設整備の方向性に関する説明会を行いました。

会場には、約30名の町民が集まり、アリーナ（新体育館）について、市街地に建設し、多機能かつ現代的な複合施設が望ましいという説明がありました。

また、中学校体育館は、新設ではなく、耐震化や冷房設備設置による延命が現実的で急務とする意見が多かったと報告があり、参加された町民は、今後の沼田町を担う重要な施設として興味深く説明を聞いていました。



9

2

空から守る、地域の安心

沼田消防団ドローン部隊が発足

沼田消防団（小西克典団長）にドローンを活用した部隊「RED FALCOMS（レッドファルコンズ）」が新設され、9月2日（水）廣野辰也隊長をはじめ隊員5名に辞令書が交付されました。

近年、自然災害の激甚化・頻発化に伴い、災害現場における迅速かつ的確な情報収集の重要性が高まっていることから設置されることとなり、災害現場での被害状況の把握、林野火災などの監視及び消火活動の支援などを行い、地域防災力の向上を図ります。



9 2

林野火災を想定した訓練を実施

深川地区消防組合沼田支署・消防団合同訓練

深川消防組合沼田支署と沼田消防団（小西克典団長）の合同訓練が9月2日（水）萌の丘で実施されました。

今回の訓練は、消防職団員の連携を強化するとともに、林野火災における消火活動及び資機材の取り扱い方法の習得を目的として実施され、40名の職団員が参加されました。

訓練では、萌の丘周辺での林野火災を想定し、梅の沢貯水池からポンプ車3台を使用し、水を確保して行う放水や新たに導入されたドローンを使い、空から被害状況の把握や消火活動の支援を行い、林野火災に対する理解を深めました。



9 3

長寿を祝い

第50回敬老会

75歳以上の方の長寿をお祝いする第50回沼田町敬老会が9月3日（木）町民会館で開催され、108名が参加されました。

開会にあたり横山町長は「今日の沼田町があるのは、皆さまが激動の時代を支えていただいたからです。これからもご支援いただきながら沼田町を見守っててください」と挨拶されました。

宴が始まると沼田認定こども園（山形千都子園長）の園児による太鼓の演奏があり、参加者は楽しいひと時を過ごしていました。



9 3

日常生活にある脳活性化のポイント

健康普及講演会「脳の若さを保つ秘訣」

令和8年度健康普及講演会が9月3日（木）健康福祉総合センターふれあいで開催され、町民約30名が参加されました。

講演会では、社会医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科の御神本雅亮みかもとまさあき副部長を講師としてお招きし、「脳の若さを保つ秘訣」をテーマにお話いただきました。

脳の若さを保つための有効策として体を動かすことの重要性や健康法について説明していただき、参加者は興味深く話を聞いていました。



9 4 第25回NHK杯すずらん記念 「明日萌の里」ペアパークゴルフ大会

第25回NHK杯すずらん記念「明日萌の里」ペアパークゴルフ大会が、9月4日（金）町民パークゴルフ場で開催されました。

NHK朝の連続テレビ小説「すずらん」を記念して開催されている本大会では、留萌市や旭川市、遠くは宮城県から40組80名の男女ペアが参加され、横山町長は「多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございます。日頃の練習の成果を十分に発揮して優勝目指して頑張ってください」と選手たちを激励されました。



9 5 WE ARE THE MOMENTUM 沼田中学校文化祭

沼田中学校(吉田久校長)の文化祭が9月5日(土)開催され、生徒たちはこれまで重ねてきた練習や学習の成果を存分に発揮しました。

今年は「WE ARE THE MOMENTUM」をテーマに笑いあり、涙ありの演劇や吹奏楽の発表、有志による和太鼓の演奏やクイズ大会、ダンスなどが行われました。ステージ発表では「沼田町」をテーマに町の発展を支えた炭鉱の歴史や地域資源である「雪」の活用について発表を行いました。

また、縁日コーナーではバッティングセンターや謎解きゲームなどが展開され、生徒だけではなく保護者なども一緒に挑戦し、笑顔で交流をする姿が見られ、会場が一体となり文化祭を楽しみました。



9 5 笑顔と絆あたたかく 旭寿園ふれあいフェスティバル 2026

特別養護老人ホーム「旭寿園」と認知症高齢者グループホーム「なごみ」が合同で開催する「旭寿園ふれあいフェスティバル2026」が9月5日(土)開催され、会場には多くの利用者が家族らとともに訪れ、秋空のもと笑顔あふれる憩いのひとときを過ごしました。

会場では、和太鼓演奏やキッチンカーや各種グルメコーナーが並んだほか、「子ども縁日コーナー」では、射的など子ども達が夢中になってゲームを楽しむ姿が見られ、世代を超えて和気あいあいと交流を深める光景が広がりました。



沼田町へのご寄附を紹介します！

宮脇さんからご寄附をいただきました

今年100歳を迎えられる宮脇敏一（旭町東）さんから、8月5日（水）沼田町へご寄附をいただきました。

宮脇さんは「100年間お世話になった町へ恩返しをしたい」と話され、横山町長は「沼田町の未来のため、大事に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



株式会社木本動力工業所からご寄附をいただきました

旭川市に本社を置く株式会社木本動力工業所（本田道明代表取締役）よりご寄附（企業版ふるさと納税）をいただきました。令和4年度からご寄附いただいております、横山町長は「そらち自然学校は修学旅行やワーケーションなどの重要な拠点ですので大切に活用いたします」と感謝状を贈呈しました。

本田代表取締役は「沼田町は近隣でも企業版ふるさと納税の取組が早かったと記憶しています。少しでも役に立ててください」と述べられました。



企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税をいただいた企業様をご紹介します。

なお、公表についてご了承をいただいた企業様のみ掲載しております。（敬称略）

会社名	所在地	寄附いただいた事業	寄附額
寺岡工務株式会社	深川市	沼田町夜高あんどん祭り50回記念事業	50万円
株式会社木本動力工業所	旭川市	そらち自然学校・ワーケーション拠点施設運営事業 （ほたる学習館管理事業）	—
令和8年度企業版ふるさと納税寄附総額			310万円